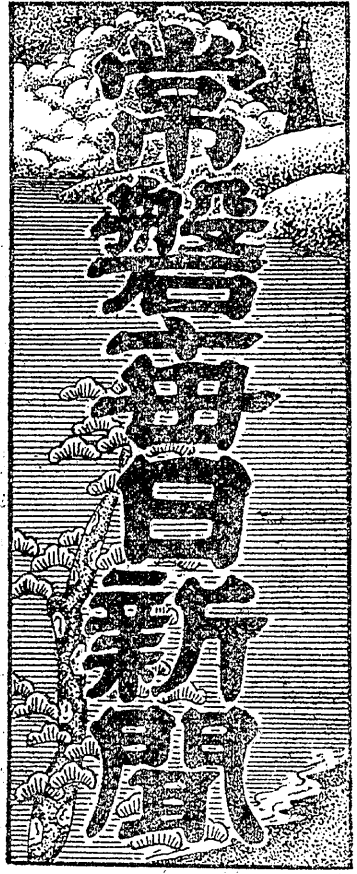


【刊夕日二十月九】



定額一圓二錢五分 廣告料五錢 印刷部一錢五分 郵政掛金一錢五分 電話掛金一錢五分 印刷部一錢五分 郵政掛金一錢五分 電話掛金一錢五分

辯論研究の目標

久留島武彦 (一)

昭和四年は自分に取つて定に記憶すべき年であつた、と同時に自分に取つては非常なる決心を持たされた年であつた。

諸君、スポーツ界の今日の進歩發展は實に驚くべきものであつて、僅か十數年前の有様は如何であつたかといふことを考へて見るとその幼稚さ加減、その競技運動の様式、或は競技場に於ける進退行動等定に野卑であり、たゞ勝たんとすることを目的としてその技能の最大能率を發揮する而もそれが平和の裡に行はれるといふやうなことは夢にも見られなかつた事であつた然るに今日は所謂隔世の感といふ言葉は斯様な時に使ふのであらうかと思はれる位に、僅かの年所を重ね來つて、その現象、その精神の著しく異なるものがあるのであります、茲に自分がスポーツの例を引くのは、雄辯道に對してその餘りに懸隔の甚だしいのに驚くが故

である。精神を練るに辯論を以てし身體を練るに競技を以てすと自分は考へて差支ないと思つて居る者であるが、隨つて又この意味に於て各中等學校、或は高等專門學校、或は地方農村に於て青年諸君の辯論の研究並にその鼓吹といふことは相當に今日は盛んなものと認められ、又事實今日ほど盛んなことはないといふ言ふ、或は雑誌、或は新聞社がこれを後援して廣き範圍に亘つて對校競演をやり或は青年團大會に各地方々々の選手を登場せしめる、此點から考へれば定に雄辯道の盛んなる今日の如きはないと認められるが實は自分の觀る所を以てすれば雄辯道の墮落したる今日より甚だしきはなしと言ひたいと思ふ。

諸君、茲に自分が前に引いたスポーツの現實の有様と靜かに對比して貰ひたい自分の記憶する所では嘗て關西方面の野球試合に中等程度の學生を引率して行つた時にその競技場に臨むや嘲笑を以て迎へられた試合が始まると同時に悪罵或は嘲笑、太鼓をたゞき法螺貝を吹き、折々喊聲を揚げ投手、捕手の過失は一々哄笑を以て迎へ、努めて精神の攪亂を圖つて他の過失に乗じて自校の優勝の位置を得んことを望むといふが如き有様であつた、當時の識者は斯かる競技運動の様式は青年をして不真面目ならしめ、百弊あつて一利なしと言つた。今日の辯論界の實情を見るに、實に當年の競技運動界の實情に琴瑟たるものがあるではなからうか

理想的耐水耐熱接合劑

キングパスト

●水か微温湯で溶せばすぐ使へる簡單な膠着劑
●一名コナニカワ
●四季を通じて一度ついたら膠着力は絶對的だ
●理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發揮し防腐の効果著し

小野屋藥店
電話一四四番

時計の生命は修理にあり
迅速親切丁寧を
モットーとする

金光堂時計店

御用命を願います
新電話一九五番

鰻節と鹽から配達敏速

魚問屋

目丁四平
屋問魚屋市丸
番三一二話電

最新式高級
セタン型二臺購入

自動車通のお客様は
斷然この車をお撰び致します
高級車でも破格の料金です
是非一度御試乗を!

マツザキタクシー
電話番號は 四四九

原齒科醫院

平町土橋通り電話三一三番

移轉廣告

外科 性病科 科
×光線科
平町田町(赤心堂病院跡)
安齊外科醫院
電話四七五番

高久病院

院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五一三番

江うな井 八十錢以上
戸かばやき 壹圓以上
前 大勉強仕出迅速致升
鰻節と鹽から配達敏速 魚 榮
電話四二四番

平警察署に於ける

供じつを翻す

毆られるのが辛さに 意にない事を申立た

ワイヤー切斷事件の公判

石城郡内郷村白水不動澤炭礦に於て去る四月廿六日の深夜坑口のワイヤーを切斷し空車四輛を

轉落せしめた村松義雄(三)

事件は昨日午後一時より福島地方裁判所平支部に於て中島裁判長係り三笠檢察立會の上開廷注目された事件だけに傍聴人も多く先づ中島裁判長から型の如く

事實の 訊問あり被

告は「事件の當日は坑内警戒を爲し同僚の家にて茶をのみながら時間を過し夜十時頃寢に就きましたので翌

朝になつてから人々の噂に事件の起つた事を聞き知つた様な次第で自分は全然たと述べたではないか」と

同事件 には關係が

ない」と答ひ中島裁判長から「警察署では自分がやつたと述べたではないか」と突き込まれ「それは警察署で散々毆られました爲めそれが辛らさに意にない事を申したので」と警察署に於ける供述を全く翻し鑛業

所長の 高階一郎、

當時の現場員濱野慶一の兩名を證人に申請した次回は十六日の筈

辯舌の雄 久留島武彦氏來平

雄辯法講座の聴講者は 五百名突破を豫想

婦人講座又期待さる

本邦通俗講演界に於ける第一人者として雷名を天下に走せて居る、久留島武彦氏は既記の如く十三、四の兩日

平青年團 主催の雄

辯法講座講師として本日午後十一時五十分平驛着で來平、住吉屋本店に投宿される筈であるが、同講座は十三日午後一時より同四時迄、十四日午前十時より正午迄の二回に亘り繼續される豫定であり藤田團長の手

許に既に聴講を由りたる者四百數十名の多きに對し勿論青年團員以外の一般聴講者を

歓迎する 筈である

から當日は五百名以上の聴講を算するに至るべく豫想されて居る尙ほ十四日午後一時からは平女子青年團及び婦人會合同にて同氏講演會を開く計劃は昨報の通りで同氏の

趣味津々 として時

間の立つを忘れしむべく今から非常の期待を以つて迎えられる

五六日間絶食の孤子

空腹を抱へて漂泊し

平驛前で途方に暮る

双葉郡新山町字郡山松本正雄(二)は早くから両親に先立たれ孤子となつた身を知己の同町金澤善太郎方に寄せて厄介になつて居たが金澤方でも商賣の手違ひから窮迫して其の日の暮しにも困る様を見て貯めて置いた五圓餘の小使錢を握り去る四日上京し上野公園を徘徊中上野警察署員に見とがめられて同署に引致され種々取調べの結果郷里に歸れと諭され湯本驛迄の切符を買つて貰つて去る五日夜湯本に下車したが懐中には十六錢を餘すのみとなり十五錢を支那ツバ一杯及び芋一錢を食して飢をしのぎ其後は

水道職員に 十倍も殺倒

失業者の山

平町上水道擴張工事が許可されると同時に今迄職にありつけなかつた失業者は我れ勝ちに平職業紹介所に駆付け技手二名、工手二名専任書記一名、書記補二名の合計七名に對し約十倍の七十名も就職申込みあり此

趣味津々 として時

間の立つを忘れしむべく今から非常の期待を以つて迎えられる

三氏追悼會

平十三日會

四錢、營業稅附加稅四百十圓五十錢(百七十五人)營業稅附加稅三百卅六圓七十七錢(卅七人)外に合計六千六百廿二圓十四錢(千五百五十二人)であるが同稅額總額に對比すると七分五厘で前期に比して幾分か好成绩である

縣下青年聯合の 體育大會を延期

來月五日開催を決定

縣下青年聯合體育大會は既記の如く來る廿八日警中校庭に開催される豫定であつたが當日は縣下ドッチボール大會が同一會場に催される計劃で審判官が同一の所から都合悪しき爲め青年團の聯合體育大會は來月五日に延期された

惡水豫防 復

けふ協議を

平町外二ヶ村惡水豫防組合は本日午前十時より平町會議室にて總會を開き水害復舊工事豫算に關する協議を遂げたが工事費總額は一萬六千七百圓を交附するべき見込みであると

注意 横領染物代を

酌婦に

住所不定山形縣西置賜郡小國本村大字下宮生飯澤澄雄(一)は本年二月上旬平町字南町染物取次店岡本宗敬方の外交員として奉公中本年七月六日突然姿を晦し双葉郡大久村渡邊フジ方から染物代金二圓五十錢を受取

横領十數件

前借金

平町南町人專周旋業山口俊雄(一)は昭和二年頃から酌婦の鞍替ひに際し前借金の横領十數件に及ぶ事發覺し平署に於て鈴木警部補取調中の所本日業務と横領として檢事局に書類と共に押送された

衛生課長巡視

本縣

衛生課長は昨日來平本日平署の初巡視を遂げた

四倉瀧市況

(十二日)

(總買數)百七十四貫九百四十匁(高値)二圓十二錢(安値)一圓七十八錢(平均)一圓九十錢(累計)二萬九千九百四十六貫

平町人事

出生

△杉平一九 當時茨城縣猿島郡古河町山崎道也氏四女喜代子
△彌宜町八四 齋藤和吉氏長女和子
△彌宜町一九 村上七之助氏長男輝夫
△立野五 山野邊菊藏氏長女しめ子
△彌宜町六八 筒井仙三郎氏三女かれ子
△死亡
△堤の内二三 梅本國松(六三)

募集

文藝其稿投稿

を募集します

黄吉斤入込み及バチラン全部一月受

御用命通り一戸も

◇チラシは百枚に付十五錢

○チランは百枚に付十五錢



天気 今晩は北よりの風曇り明日は西の風晴れたら曇つたり

△前九・一〇 料理献立 一、鯖ムニールレモンバセリ二、しめ鯖 中村康子 日用品値段「砂糖及粉類」 △前一〇・三〇 家庭講座 「夏秋の交に流行する下痢の手當に就て」龜掛川英吾 △後〇・〇五 ジャズ(獨唱付)カアイジャズバンド △後二・〇〇 講演「乃木兄弟の戦死と其母」秋山常介 △後二・四〇 △後三・四五 運動競技「シカゴ大學對 寢應大學野球試合状況」 明治神宮外苑野球場より中継

△後六・〇〇 子供の時間 「童謡と唱歌獨唱」山形縣 東根尋常高等小學校五年 奥山絢、伴奏 高岡良吉 △後七・二五 講演「保護 專業に就て」司法大臣渡邊千冬 △後八・〇〇 ピアノトリオ「日本民謡集」(H.K.T. リオ・ヴァイオリン)一野坪勳(チェロ)伊東拓(ピアノ)宮城道子 △後八・三〇 常磐津「釣女」常磐津佐喜太夫其他 △後九・〇五 講演「若き日の次郎長」神田伯山 △後九・四〇 時報氣象通 報番組豫告生爾相場

釣女

常磐津 淨瑠璃 常磐津佐喜太夫 同 常磐津古光太夫 同 常磐津小和歌太夫 三味線 岸澤己佐吉 上調子 岸澤伸伍 抑是は猿樂の昔よりして其技の可笑と云ひし狂言師 名に大藏や驚流の容を寫す釣女 斯様に候者は此所の大名でござる ヤイ、太郎冠者あるか、ハア御前に居たか、ハア汝も知ること、此處まで定まる妻がない、承はれば西の宮の惠北須三郎殿は、福者と申す事、最へ参り、妻を申し受けやうと存する、汝供をせい、誠に仰の如く

でござる、西の宮の、木びす三郎殿へ参るがようございませう、私も定まる妻がございませぬ、序でながら申し受けませう、扱々は卒爾な事をいふものぢや、及びす三郎殿とこそ云へき、びす三郎と申す事があるものは、ハテ繪に描いた折は及びす三郎と申し、木で造つた折は木びす三郎と申します、なか、汝は道不案内ぢや程に名所舊跡を語り聞かせよ、畏まつてござる、去らば急いで参らう、サアサア来い、参りませう、イヤなう、頼うだ、お方、先へ参る程に是が、小唄に諷ふ奈良法師、行くも戻るも心の留まるも、山崎の、女郎とねはんの

長枕 結び緑しの尼が崎、ヤ面白、シテ向ふに見ゆる山は何ぢや、ハアあれは、山でござる、爰は夏山、山葉山ぢやが何と申す、エ、何山は山でござる、オ、それ、あんの山からこんの山へ、とんで出たるは何者ぞ、頭にふつ、ふと二ツ細うて、長うて、凛と刻ねたを、ちやつと推した、兎ぢや、何を申すシテ西の宮はまだか、最中此森の中でござります、去らば参詣を致さうぞ、ハア先づ口に取付かう、ぢや、わん、いかに申し上げ候、我今年まで無妻なり、三郎殿の利益にて、定まる妻を授けたまへ、授けたまへと、一心こめて伏拜む、ヤイ、太郎冠者、汝も拜め、畏まつてござる、ぢや、わん、如何に木比須三郎殿へ申し候、私も定まる妻はなし、似合相應美しき、妻をお授け、と、三拜九拜したり、ける、ヤイ、太郎冠者、今宵は通夜をせう、汝もまどろめ、畏まつてござる、アラ、尊や、内陣の内ぞ、床しき、我妻を、千代と契らん、手枕の、袖を捲うてまどろみしが、程もあらせず、夢覺めて、オ、お告があつた、汝が妻になる者は、西の門の、一階にあらう程に、連れて歸れとお告げが、是は如何な事、私がお告げも、其通り急いで参らう、勇み悦び足元に落ちたる、竿を取上げて、これは如何

な事妻でなうて竹の先に糸が附いてある、これは何であらうぞ、不思議なお告げでござります、イヤ、是は悟つた惠比須殿は、不斷釣竿を放さず、釣ばかりしてござるによつて、此針で妻を釣れといふ事であらう、先づ急いで釣ませう、エイ、釣ろよ、神の教への釣針をおろし、みめよき妻を釣らうと針をおろせば、不思議な氣高き女を釣り上げて、アラ有難や、扱も良しい、何が扱お悦びでござる、これこれ、そなたは定まる妻ぢやによつて、目をかけておる程に、夫を大事にしませうぞ、ヤ、小野の、小町か、楊貴妃か、アラ美しい、イヤ、申し、道々こつそり、樂まうと、背中へ入れて来た此吸筒、お二人様の三々九度、是にて目出度う御祝言、ヤ、これは一段の事ぢや、サア注げつて心得てござる、先づ女子の方より献しませ、申し、我夫心ず見捨て下さるな、何んの見棄て、よいものか、オ、嬉し、太郎冠者祝して、一つ謡うて呉れ

鯖料理 鯖(五人前) 鯖中位のもの且新鮮なものを一尾、酢一合位、青紫蘇及生姜少々、砂糖、醬油、鹽、味淋各適宜 調理法は三枚に下し鹽を振りかけ鹽がとけて水

になつた時酢に入れ十分間位の後爪で薄皮をむき取り腹の小骨を毛抜きでぬきます、青紫蘇は細く切り水にさらし生姜はすり下します、前のさばを取り出し刺身に切り紫蘇を盛り生姜を添へ三杯酢で供します。三杯酢は砂糖に味淋をまぜて裏返し冷却したもの、酢醬油を混ぜます、割合は砂糖五、味淋三、酢醬油一、勺が適宜でござります

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 川崎 文庫 (申込次第規則書参照) 電話六三〇番

電話番號變更披露	六三	平町土橋 小川屋商店
	九一	縣社子鋏倉神社
	九三	磐城佑賢學舎 大和田豊吉
	一七九	平町長橋町 銘酒五十嵐文右衛門 香久山
	一八五(私用)	平町四丁目 マルトモ 柴田書店
	二三四	平町田町 菓子店 日進堂
	五九七	平町前 福島モーター商會 平出張所
	一八七	平新川町十九 木村病院 電話一六四番

木村病院 電話一六四番

産科 院長 木村寅次郎

婦人科 女醫 木村コウ

内臓外科 醫學士 松永憲一

整形外科 醫學士 萩原駿二

藥局 東京藥學士 萩原駿二

電 話 番 號 變 更 披 露

一九〇	一九一	一九五	一九八	二八〇	二八二	二八四	二八五	二九一	二九四	二九五	二九六
平町鍛冶町 石炭商 長瀬文造	平町搔毬小路 辯護士 酒井喜代正	平町五丁目 時計店 金光堂	平町五丁目 醫院 遠藤淺香	平町前 遠藤パン	平町白銀町 伏見彦衛	平町三丁目 三井吳服店	平窪村 辰銘ノ口 松本徳一	平町搔毬小路 葬具一式 博盛堂	平町前 機械商 田邊商店	平町大町 鐵工業 河田梅吉	平町新川町 平樂亭
三七六	三七八	三七九	三八〇	三八三	三八九	三九五	三九六	三九八	四八二	四八三	四八六
平町五丁目 ライオングサン石油株式會社代理店 海老澤商店	平町仲町 磐城無盡會平支店	平町二丁目川岸通 小松崎洗濯屋本店	平町三丁目 諸鳥鶏卵 鳥留商店	平町十五丁目 久保田パン店	平町長橋町 關内精米所	平町三丁目 芹澤自動車部	平町三丁目 鹿島屋號 大勝園茶舗	平町大工町 海產物鮮魚罐詰類 石井商店	材木町二(研町通り) 京屋洋服店	平町六丁目 皮革商 佐藤榮吉	平町材木町 綠川酒店
四八八	四九〇	四九一	四九三	四九七	五七九	五八〇	五八九	五九〇	五九一	五九三	六七一
平町二丁目 遠藤帽子店	平町五丁目 スピイデー 自動車修繕工場 大内昌吉	平町五丁目 產婆 猪狩カク	平町十五丁目 有限信用組合平庶民金庫	平町大工町 鮮魚商 四倉屋	平町新田町 料理店 紀の國や 水口豊次郎	平町驛前 果實商 好川屋商店	平町三丁目 蓄音器萬年筆 天地堂	平町南町 會津銘酒 末廣酒店	平町大工町 多田井笑次郎	平町長橋町 土木請負 荒川銀次	平町紺屋町 米穀雜貨 たなみや商店